

政策・財政会議、第44回宮城県震災復興本部会議
及び平成26年度第5回宮城の将来ビジョン推進本部会議
議事概要

日 時 平成27年2月9日(月)
午前10時15分から午前10時45分まで
場 所 行政庁舎4階 庁議室

1 開 会

2 議 事

(1)「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画【平成26年度改訂版】」(案)について

(2)「平成27年度宮城県震災復興推進事業(案)」及び「平成27年度宮城の将来ビジョン推進事業(案)」について

○ 震災復興政策課長から、「資料1, 資料2」に基づき説明。

○ 意見及び質問
特になし

(3)平成27年度「みやぎ発展税」の活用施策概要(案)について

○ 経済商工観光部長から、「資料3」に基づき説明。

○ 意見及び質問
特になし

(4)平成27年度「みやぎ環境税」の活用施策概要(案)について

○ 環境生活部長から、「資料4」に基づき説明。

○ 意見及び質問

【公営企業管理者】

○ 環境税は平成27年度が最終年度だが、平成28年度以降については。

【環境生活部長】

- 平成 28 年度以降については、継続するかどうか、検討しているところである。

【公営企業管理者】

- 方向性については。

【環境生活部長】

- 非常に有効な税であると認識している。

(5) 平成 26 年度行政活動の評価の結果の反映状況説明書（案）について

- 震災復興政策課企画・評価専門監から、「資料 5」に基づき説明。
- 意見及び質問
特になし

三浦副知事から全体を通じてのコメント

【三浦副知事】

- 平成 27 年度は「再生期」2 年目にあたり、また、震災発生から 5 年目を迎え、「復興計画」の折り返しの区切りの年となる。
さらに「集中復興期間」の最終年度でもあり、そういった意味では非常に大事な年となる。集中復興期間の延長については、その延長を引き続き国に要望していくこととしているが、いずれにしても、被災者の方々の生活再建や地域経済の再生に向け、一層スピードを上げつつ、一方で「広域防災拠点」の整備をはじめ、「医学部の新設」や「仙台空港の民営化」など、「創造的な復興」につながる取組を進めることができるようよろしくお願いします。
- また、先頃成立した国の補正予算による経済対策（消費喚起型、地方創生先行型）については、各部に作業を継続してもらっており、感謝する。この経済対策による補正予算は、出来るだけ積極的に活用して、さらに宮城県の復興に向けて充実した取組を進めていきたいので、引き続きよろしくお願いします。

3 閉 会